



第68期 報告書

2021年1月1日から2021年12月31日まで



CONTENTS

P1～P2 株主の皆様へ

P3 販売品目

P4 連結財務諸表

P5 会社データ

P6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



2022年3月

代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第68期（2021年1月1日から2021年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第68期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、緩やかに持ち直しの動きが見られましたが、世界的な半導体不足等による供給抑制や原材料価格の高騰もあり、景気は十分な回復には至りませんでした。一方、国際経済におきましては、主要国を中心にワクチン接種が普及したこともあり、景気は総じて回復傾向が続いておりましたが、変異株の感染急拡大が発生し、先行き不透明感が高まっております。

鉄鋼業界におきましては、自動車・建設機械などの製造業向け需要は、輸出を中心に回復傾向が見られましたが、建設業向け需要は中小物件が低調に推移し、内需はコロナ前の水準に届きませんでした。一方、鉄鋼価格につきましては、世界的な鉄鋼需要の回復に加え、中国発の資源価格高騰により、急激かつ大幅な値上がり年間を通じて続きました。

このような経営環境下において当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は453億95百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は14億55百万円（前年同期比791.7%増）、経常利益は15億75百万円（前年同期比457.4%増）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する当期純利益は10億60百万円（前年同期比630.7%増）となりました。

今後の課題について

わが国経済の見通しは、新型コロナウイルス感染症に伴う感染拡大抑制と社会経済活動の正常化に向け、困難な対応を強いられる状況が続くものと予想されます。また半導体等の供給制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意が必要ですが、政府による景気刺激策等の効果もあり、景気の持ち直しが期待されます。ただし、コロナ禍からいち早く回復傾向を辿った中国が、電力不足や不動産問題の調整等で成長が鈍化しており、長期化すれば日本をはじめとした世界経済の下押し要因となる懸念があります。

鉄鋼業界におきましては、調達部品不足で一部減速が見られていた製造業向け需要は、改善に進むものと予想され、また建設業向け需要も大型物件を中心に昨年を上回る水準が期待されます。昨年、過去に例をみないほど急騰した鉄鋼価格は調整局面をむかえており、生産・需要の世界の過半数を占める中国の動向には、十分注意が必要となっております。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべく以下のような施策を実行し、さらに経営基盤を強化したうえで、存在感ある企業を目指します。

①ワンストップ機能の拡充

顧客志向に即した豊富な商品ラインアップを図り、大口・小口を厭わない効率的な荷捌き・配送の仕組みを確立し、現物・即納体制の強化に努めます。また自社加工設備の活用と多くの協力会社との連携によって、一次加工からハイレベルな加工にも積極的に取り組み、あらゆる顧客志向に一貫して応じることのできる体制を一層強化してまいります。

②業務効率化

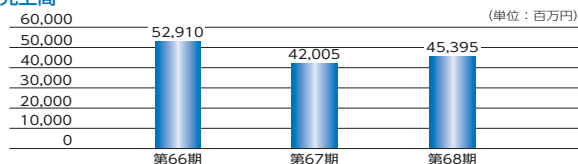
社員のより効率的な働き方を実現するため、デジタル技術の活用と社員一人一人の意識改革を推進するなど、ハード面・ソフト面の積極的な改革に取り組んでまいります。また効率的な業務処理と営業支援を最大限に発揮できる新基幹システムを開発・運用することで、さらなる生産性の向上を図ってまいります。

③人材戦略

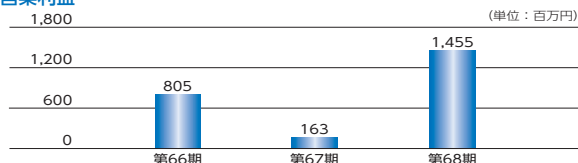
多様化した顧客ニーズに対応する鋼材のエキスパートになれるよう、研修や資格取得等の取り組みを通じて人材の育成に努め、通年採用やキャリア採用等による優秀な人材発掘、当社グループへの定着化を図ってまいります。

連結財務ハイライト

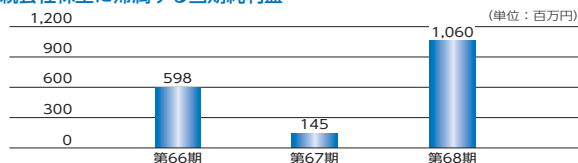
●売上高



●営業利益



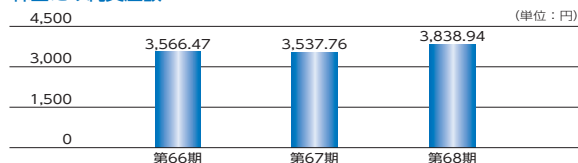
●親会社株主に帰属する当期純利益



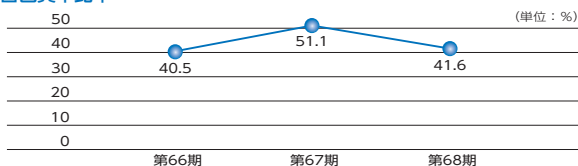
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



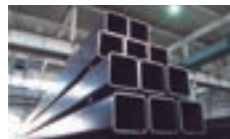
H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 2020年12月31日現在	当期 2021年12月31日現在
資産の部		
流動資産	17,759	26,777
固定資産	9,326	9,592
有形固定資産	7,355	7,306
無形固定資産	106	320
投資その他の資産	1,865	1,964
資産合計	27,085	36,370
負債の部		
流動負債	11,563	19,535
固定負債	1,443	1,468
負債合計	13,006	21,004
純資産の部		
株主資本	13,343	14,408
資本金	735	767
資本剰余金	601	633
利益剰余金	12,031	13,033
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	509	711
その他有価証券評価差額金	509	711
非支配株主持分	226	245
純資産合計	14,079	15,365
負債及び純資産合計	27,085	36,370

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	当期 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)
売上高	42,005	45,395
売上原価	38,048	39,695
売上総利益	3,957	5,699
販売費及び一般管理費	3,794	4,244
営業利益	163	1,455
営業外収益	151	153
営業外費用	31	33
経常利益	282	1,575
特別損失	35	10
税金等調整前当期純利益	247	1,564
法人税、住民税及び事業税	173	537
法人税等還付税額	△42	—
法人税等調整額	△23	△51
当期純利益	140	1,078
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△4	18
親会社株主に帰属する当期純利益	145	1,060

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2020年1月1日から 2020年12月31日まで)	当期 (2021年1月1日から 2021年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,919	△1,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△507	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,474	1,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△62	△312
現金及び現金同等物の期首残高	1,402	1,340
現金及び現金同等物の期末残高	1,340	1,028

【会社概要】

(2021年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	767,562,500円
従業員数	16名（連結従業員数：239名）
主要な事業内容	当社グループは、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

【役員】

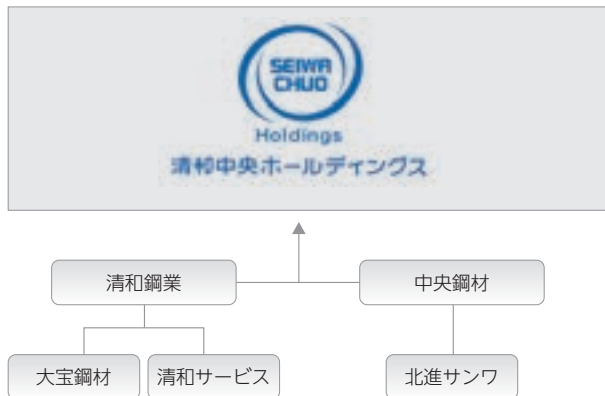
(2022年3月30日現在)

代表取締役社長	阪上正章
専務取締役	阪上恵昭 管理本部長
取締役	伊吹哲男 経営企画部長
取締役	後藤信三
取締役	草野征夫
常勤監査役	上山公
監査役	岸保典
監査役	小西弘之

- (注) 1. 取締役草野征夫氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役上山公、岸保典、小西弘之の3氏は、社外監査役であります。
 3. 取締役草野征夫氏および監査役上山公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
 4. 監査役小西弘之氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

【清和中央ホールディングス組織図】

(2022年3月30日現在)



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131

中央鋼材株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-5 TEL：03-6891-4800

大宝鋼材株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205

清和サービス株式会社

〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

北進サンワ株式会社

〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根1212-3 TEL：048-999-7373

【 株 式 情 報 】 (2021年12月31日現在)

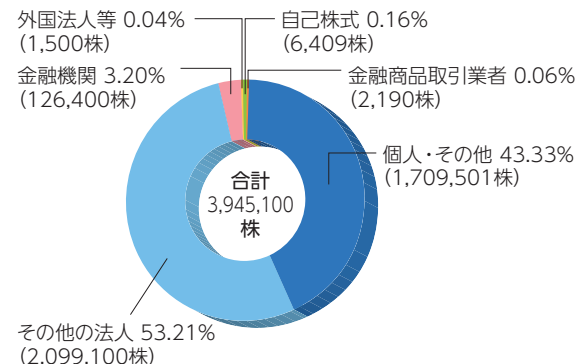
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,945,100株
 (注) 2021年6月9日付で、一定の条件を満たす当社従業員ならびに当社子会社取締役および従業員に対し譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行したことにより、発行済株式の総数は23,100株増加しております。
- 3) 株主数 535名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
エスケー興産株式会社	575,800 株	14.62 %
株式会社ワイエムピー	558,000	14.17
阪上 正章	434,480	11.03
大和製罐株式会社	377,800	9.59
阪上 恵昭	320,200	8.13
東洋商事株式会社	149,500	3.80
エムエム建材株式会社	130,000	3.30
加藤 匡子	121,700	3.09
小田 宏雄	104,300	2.65
コンドーテック株式会社	60,000	1.52
フルサト工業株式会社	60,000	1.52

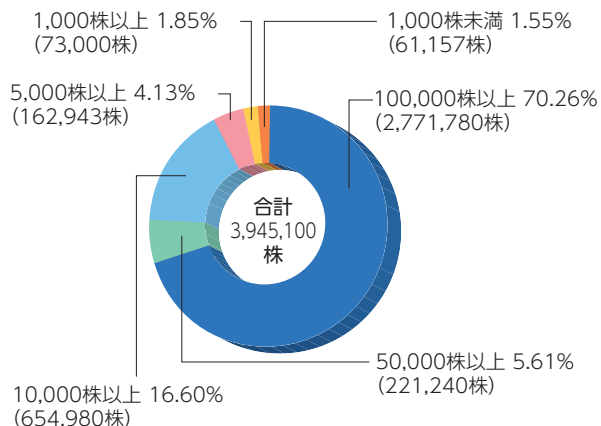
(注) 持株比率は自己株式 (6,409株) を控除して計算しております。

【 株 式 分 布 状 況 】 (2021年12月31日現在)

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報

